

飲水思源

町長 松岡市郎

大切なもの、有り難いものに感謝

先日、消防職員の結婚披露宴があり、お祝いの席上「女房（にようぼう）、消防（しようぼう）は、水や空気、トイレットペーパーのようなもの」と申し上げた。「おめでたい席でトイレットペーパーとはなんですか」と隣席のおばちゃんからお叱りを受けてしまったが…。

硬い雰囲気や和らげるつもりで、最も大切なものが見つからないことが、なんと多いことか、と言いたかった。女房は家庭に幸せを運ぶ「ガミ（神、上）さん」、消防は住民に万が一の時に幸せを守る大切なもの、「神さま」のようなものである。しかし、なかなか日常の生活の中では「水や空気と同様に有り難さには気がつきにくい。ではトイレットペーパーは？ トイレにカミ（紙）がなかったら…と考えると、大切なカミ」、ありがたいものである。

ある人いわく「幸福を運ぶものはすべてトイレットペーパーだ」。それは機能的な日本語に訳すと「福（拭く）の神（紙）」だからそうである。

「雪は天から送られた手紙である」と表現した雪の科学者、随筆家の中谷宇吉郎氏（故人）は、一方で「災害は忘れたころにやってくる」という有名な言葉を

残している。

8月23日から24日にかけて、大雪山付近に局地的な集中豪雨が発生し、予想もされない被害が発生した。1975（昭和50）年以来35年ぶりの豪雨で、災害は私たちの中からかつての記憶が消えてしまったころにやって来た。しかし、当時とまったく異なっているところが2つある。1つは、今回は短時間で80ミリメートルから130ミリメートル程度の集中豪雨となっていることだ。

2つ目は、同じ被害でも忠別ダムの上流域と下流域では様相がまったく異なっている。

上流域では道路損壊、電柱倒伏、電話線断線、樹木倒壊・流出など、被害の甚大さは前回と同じであるが、下流域では忠別川の水は濁ってはいるが何事もなかったかのように流れていたのである。

もし忠別ダムがなかったら、市街地住民の避難誘導が必要となる可能性があった。今考えると恐ろしいことだ。そして上川総合振興局の動きが早い。

日常、平和に暮らしていると大切なもののありがたさを忘れがちである。もう一度、私たちの周りにおける大切なものを確認し、感謝したいものである。

文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています

文化交流館では、図書室に所蔵されていない本や映画DVDのリクエストを随時受け付けています。ご希望の本、映画DVDがありましたら、司書カウンターに備え付けてある申し込み用紙に名前をご記入の上お知らせください。ご希望の図書は新たに購入、または他地域の図書館から取り寄せ、できるだけ迅速に対応します。ただし映画DVDは、著作権の関係上すべてのご要望に応えられない場合がありますのでご了承ください。調べもの、図書室に関する質問もお受けしています。交流館職員までお気軽にご相談ください。



重力ピエロ
(映画、DVD)
アスミック・エース

遺伝子を研究する兄「泉水」と、自分がピカソの生まれ変わりだと思っている弟「春」。穏やかに暮らす2人の家族には、過去つらい出来事があった。その記憶を抱えて兄弟が大人になった時、連続放火事件と火事を予見するような謎の落書きが出現する。すべての謎が解ける時、24年前から今へとつながる家族の秘密が明らかとなる。(119分)



ゴー・ゴー・ゴール! (絵本)
作/さこんらんこ 絵/かべやふよう
刊/フレーベル館

「ぼくはサッカーが好き。でも“へたっぴい”なんだ。転がってきたボールを蹴ったら、変な方向に飛んでいった。追いかけていくと、大変! ねこにボールを奪われた」。さらには赤ちゃんを連れたおばさん、さかなやさんと、次から次へとボールが蹴られ、ついにはスタジアムへ。最後にゴールするのはだれ!?



小さいうち (一般書)
著/中島京子 刊/文藝春秋

第2次大戦前から戦中、戦後にかけて、東京山の手にある中産階級の赤い屋根の家で女中として奉公していた「タキ」が、思い出を残そうと、この家族について晩年に回想する。やさしい旦那さまと美しい奥さま。そして、自分を慕う坊ちゃんに囲まれ、穏やかに過ごした日々は、1人の青年の登場によって少しずつ変化し始める。第143回直木賞受賞作。